

平成 17 年 5 月 9 日

国土交通省 豊橋河川事務所
岡 崎 市

お 知 ら せ

- 1 件 名： 岡崎市大門地区「水辺プラザ」の計画の登録と今後の整備について
- 2 概 要： 「水辺プラザ整備と河川改修で、ソフトボールやグランドゴルフなどスポーツやレクリエーションを楽しめる広場等を市民協働参画により計画していきます。」

国土交通省豊橋河川事務所と岡崎市は、これまで「地域と連携した川づくり事業」の計画を進めてきましたが、このたび、岡崎市の『矢作川水辺プラザ』（愛知県岡崎市大門地区）の計画が、平成17年3月31日に国土交通省により登録されました。

この登録と連携して、国土交通省が『矢作川（大門地区）河川改修事業』を行い、岡崎市が広場を河川公園として整備し ”にぎわいのある水辺の創造” を目指します。

今後の河川公園計画づくりには、地元の皆様の参加により、事業を進めていきます。
- 3 資 料： 別紙－1 詳細概要
別紙－2 矢作川改修（大門地区）概要図
別紙－3 水辺プラザ整備概要図
- 4 解 禁： 指定なし
- 5 配 布 先： 岡崎市市政記者会、岡崎新聞記者会
- 6 問合せ先： 水辺プラザ（公園整備計画）関係
岡崎市土木建設部 公園緑地課
中根次長、倉地副主幹
TEL：0564-23-6466
河川工事関係
国土交通省中部地方整備局豊橋河川事務所
中西副所長、沢田工務課長
TEL：0532-48-8103

矢作川河川改修と水辺プラザ整備 ～ 地元と連携した川づくり事業 ～

〈 岡崎市の計画概要 〉

◆ 岡崎市では河川を、都市を形成する一つの軸として位置付け、水辺の持つ機能を都市づくりに活かす計画をしており、地域整備構想にもとづき、市民の発想を促進した市民公園や、矢作川を利用した自然にふれあう空間と融合した施設の整備等を行ってきました。

◆ このたび、新たに自然環境と共生するシンボリックな空間として、矢作川沿いの緑地を結び、堤内地側に存在する公園（大^{だいもん}門公園・堤^{つつみした}下公園）を活用することにより、自然とのふれあいを目指し、地域交流の拠点となるよう「水辺の整備」を、国土交通省の河川改修との連携により『水辺プラザ』として、利便施設、公園などを効率的に整備することを目的に国土交通省から、登録を受けました。

〈 国土交通省の整備の計画概要 〉

◆ 国土交通省は、大門地区の過去の漏水対策等を踏まえた堤防の断面を厚くする堤防の強化や、低水護岸を施工することにより、洪水時における堤防の安全性を向上させる工事を行います。その低水護岸と堤防間の高水敷を、岡崎市が『水辺プラザ』として、市民の声を聞きながら「にぎわいのある水辺」として整備する事としています。

◆ 国土交通省が行う堤防及び河川護岸の改修の整備は本年度から着手します。水辺プラザの整備については、本年度から岡崎市が基本設計を行い、国土交通省が実施する護岸整備に合わせた事業が出来るよう支援を進めます。

◆ 岡崎市大門地区住民の方々には、4月19日に事業説明会を開催し、今後の河川公園整備には、地元の皆様の意見等を聞きながら進めることで、お願いしています。

～ 「地域と連携した川づくり事業」 ～ 国が実施する河川改修と地域の交流拠点整備『水辺プラザ』 により、水辺に ” にぎわい ” を創り出します。

（目的） 市町村にある水辺の魅力を最大に引き出す整備により、そこを訪れたいとなるような、地域交流の拠点として「にぎわいのある水辺」を創出。

（内容） 市町村の行う河川、溪流沿いの交流拠点整備と一体・連携して、基盤として必要な河川整備等を国交省が実施。

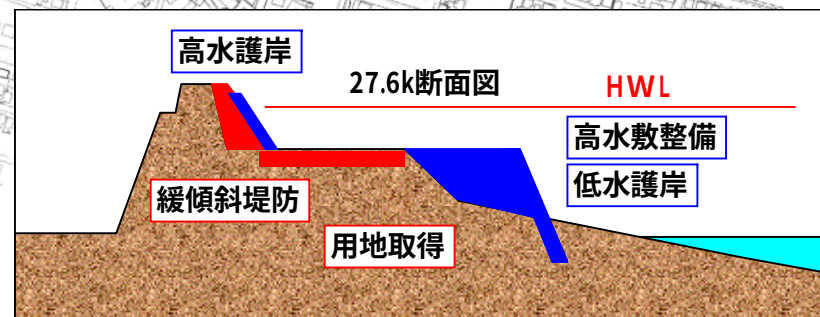
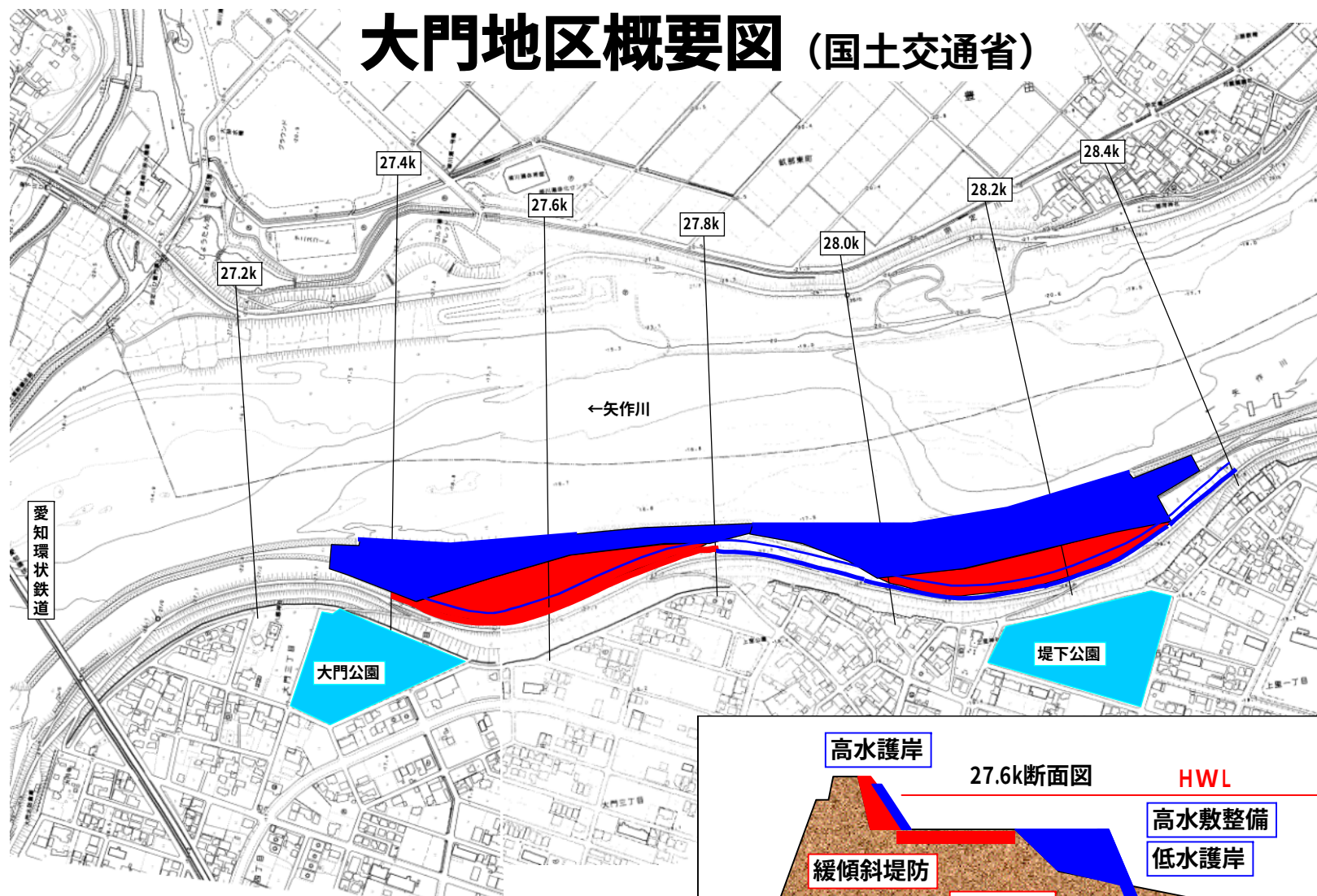
[水辺プラザ＝市町村の交流拠点整備＋国交省の河川整備]

例えば 、市町村： 河川利用の利便施設、河川沿いの公園、遊歩道、駐車場

国交省： 堤防の緩傾斜化、親水河岸、河川内の整備等

(市町村の実施する拠点整備の進捗に応じ、必要な河川整備等を優先実施。)

大門地区概要図 (国土交通省)



別紙一 3

